

電動丸

4000HP

取扱説明書

このたびは、シマノ電動丸4000HPをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

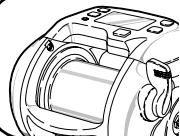
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、リール同様大切に保存してくださいますようお願い申し上げます。

特長	2	船べり停止について	27
デジタルカウンターの各部の名称	3	電動巻き上げと変速スイッチの使い方	29
メインスイッチについて	4	タナセット方法	30
各部の名称	5	2通りの棚の取り方・上からモードと底からモード	31
電源とコードについて	6	上からモードの実釣編	32
学習方法	7	底からモードの実釣編	33
学習方法 1.メータごとのマーカのある糸を巻かれる場合(学習モード)	10	お取り扱い上の注意 / セーフティ機能	34
学習方法 2.ナイロンラインなどマーカのない糸を巻かれる場合(学習モード)	12	仕様 / 製品のお問い合わせ・アフターサービスのご案内	36
学習方法 3.シマノ・デュラPE船8号300mを巻かれる場合(指定モード)	14	故障かな?と思われたときは	37
学習方法 4.PEライン8号200m/10号200mを巻かれる場合(下巻モード)		安全上のご注意	38
5.それ以外の号数・mを下巻きして巻かれる場合(下巻モード)	16	サービスネット	39
手順について	20		
色々なテクニック	22		
0(ゼロ)セットの設定	24		
高切れの補正	26		

従来の
6000クラスを凌ぐ!!
瞬間最大トルク
44kgcm
電動丸4000HP

そのパワーは従来の6000クラスを凌ぐ!!

瞬間最大トルク44kgcm。



PE8号300mを基準にゆとりを追加...

PE6号500mも余裕の対応。

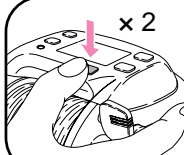
実用性追求から生まれた合理的スプールサイズです。



視認性、操作性を徹底追求...

大きな液晶表示&大きな操作ボタン。

👉 P3参照



チョイでチョイ巻き、チョチョイで連続巻き上げの...

ダブルクリック操作スイッチ。

👉 P4/P32参照

高速・低速変速スイッチを同時に3秒以上押すことで、通常の1回押しで連続巻き上げの状態に変更することもできます。



水洗いOK。ドラグは水に強いカーボンワッシャ・さらにメンテまで...

洗ってメンテ。

👉 P34参照

ザブザブ水洗いした後はスプレーオイルで注油可能です。ドラグもカーボンワッシャの採用で耐久性が向上しました。



下巻き自在の...

スプール下巻きライン&下巻きゲージ。

👉 P16参照

PE8号200m/10号200mはスプール下巻きラインで、それ以外の号数・mも下巻きゲージを使えばピッタリに巻き上げられます。



コンピュータコントロールで10m/分から160m/分まで...

ワンタッチ切り替え15スピード巻き上げ。

👉 P29参照



シカケが棚を正確に狙う...

タナメモリー。

👉 P30参照

釣れた棚をメモリーすれば、次回そこにシカケがくるとアラームが鳴り、棚を知らせます。



スピーディーに巻き上げる...

160m/分カラ巻きHiスピード。

👉 P29参照

シカケのカラ巻きを高速で行ない、手返しやポイントの移動などで威力を発揮します。



より正確に何回でも狙った水深にシカケを落とす...

0(ゼロ)セット。

👉 P24参照

シカケが水面にあるときに0メートルとして設定できますから、狙った水深に、より正確にシカケを投入できます。



竿を立てたときにシカケが手元に戻ってくる...

船べり停止。

👉 P27参照

船べり停止位置が自動的に設定されますから、船べり停止後、竿を立てるだけでシカケが手元に戻ります。



高切れをワンタッチで修正する...

高切れセット。

👉 P26参照

高切れした場合は、再度シカケを結びシカケを水面に合わせて0セットスイッチを押してください。カウンターが修正されます。



早く正確に棚を狙える...

SLSII (シマノ・ラインプログラム・システム2) 搭載。

👉 P10参照

リール本体からローラーをなくしたので、シカケの落下が速くなり、しかもローラーのスリップによる誤差もありません。



カウンター表示を選択できる...

「上からモード」底からモード」切り替え。

👉 P31参照

釣場、釣り方、対象魚など場合に応じて上(水面)から・底からの水深表示を切り替えることができます。

デジタルカウンター各部の名称

現在の水深

「上からモード」の時は水面からの水深
「底からモード」の時は底からの水深を表示します。

上/底切り替えスイッチ



ワンタッチ

標準モードの時、1回押すごとに「底からモード」と「上からモード」の切り替えをします。

メモ・0(ゼロ)セットスイッチ



ワンタッチ

上からモードの時現在の水深をメモリーします。
「底からモード」の時には同時に現在の水深が0.0になり底からのカウントになります。



3秒以上

0セットします。
シカケを水面に合わせて0セットしてください。

モードスイッチ



先の細いものでワンタッチ

押すごとに学習・指定・下巻の順でモードが切り替わります。

各種表示

学習・指定・下巻:各モード時に点灯します。
0セット:0セット受付時に点灯します。

巻き上げの力(系のテンション)を数字で表示します。
(数字=kgではありません。)

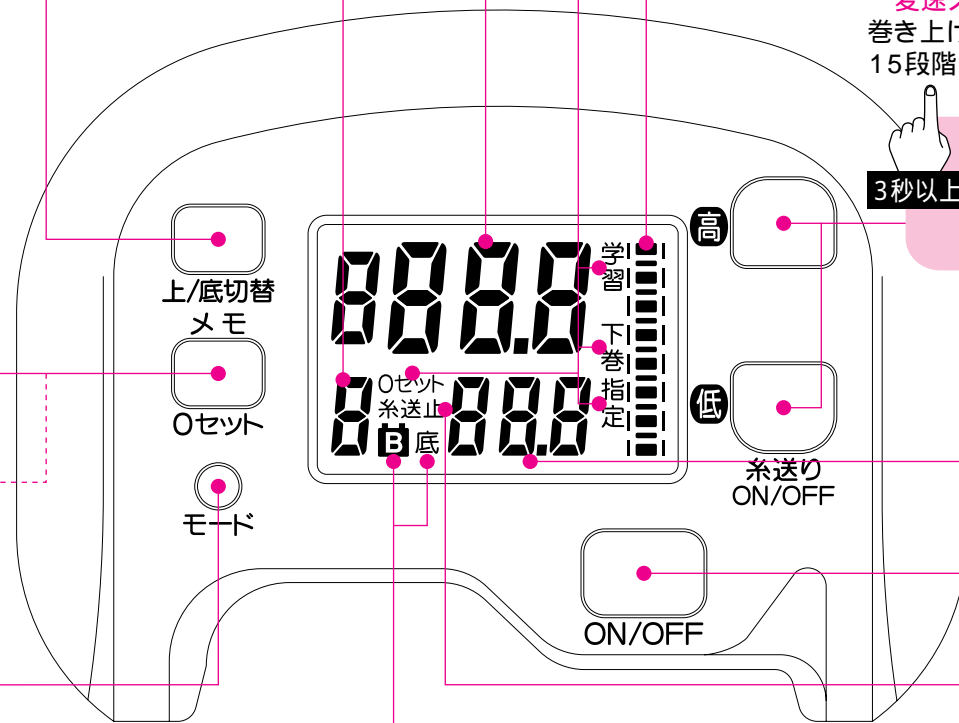
現在の電動巻き上げスピードの設定を表示します。

変速スイッチ

巻き上げ速度を目的、好みによって15段階に選べる機能です。

3秒以上

モータが停止している時、低速スイッチを押すごとに自動糸送り機能のオン・オフ切り替えをします。



メモリーした水深を表示します。

メインスイッチ

電動の巻き上げのオン、オフスイッチ。
船べり停止後は押し続けているのみ電動巻き上げになります。

自動糸送り機能

シカケをおろす時水深10m以上で自動的にモーターが回りスプールが糸の出る方向に回転しやすくなります。
機能がオフの時は「糸送止」が点灯します。

各種表示

底:底からモード時に点灯します。
点灯のない時は上からモードです。
B:バッテリーが不足したときに点灯します。(10.5V以下)

図は説明のために液晶を全部点灯させています。

メインスイッチについて

チョイでチョイ巻き、チョイチョイで連続巻き上げ・ダブルクリック操作の... メインスイッチ

(赤い色のスイッチ・位置は右ページの「各部の名称」を参照)



ワンタッチ

1回押すと、

押している間電動巻き上げを行ない、離すと停止します。

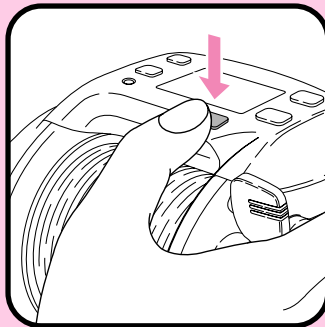


ダブルクリック

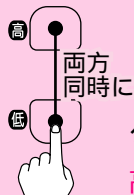
続けて2回押すと、(ダブルクリック操作)

電動連続巻き上げを開始します。
停止はスイッチを1回押します。

ただし船べり停止以後は、スイッチを押している間のみ巻き上げます。



いずれも巻き上げ速度は変速スイッチで調節してください。

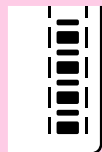


3秒以上

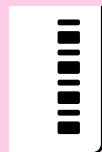
ダブルクリック操作を解除したい場合...

高速スイッチと低速スイッチを同時に3秒以上押すと、

ダブルクリック操作が解除され、1回押しで連続巻き上げが使用できます。
再びダブルクリック操作の巻き上げに戻すには、高速・低速スイッチを同時に3秒以上押してください。電源を切ってもこの操作ををするまではもとの状態にもどりません。



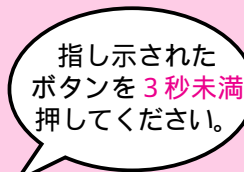
ダブルクリック時



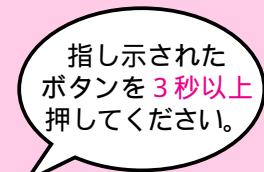
ダブルクリック解除時

スピード表示のマークが
このように変わります。

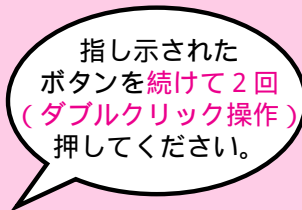
本文の説明中に次のようなマークが出てきた場合は...



ワンタッチ

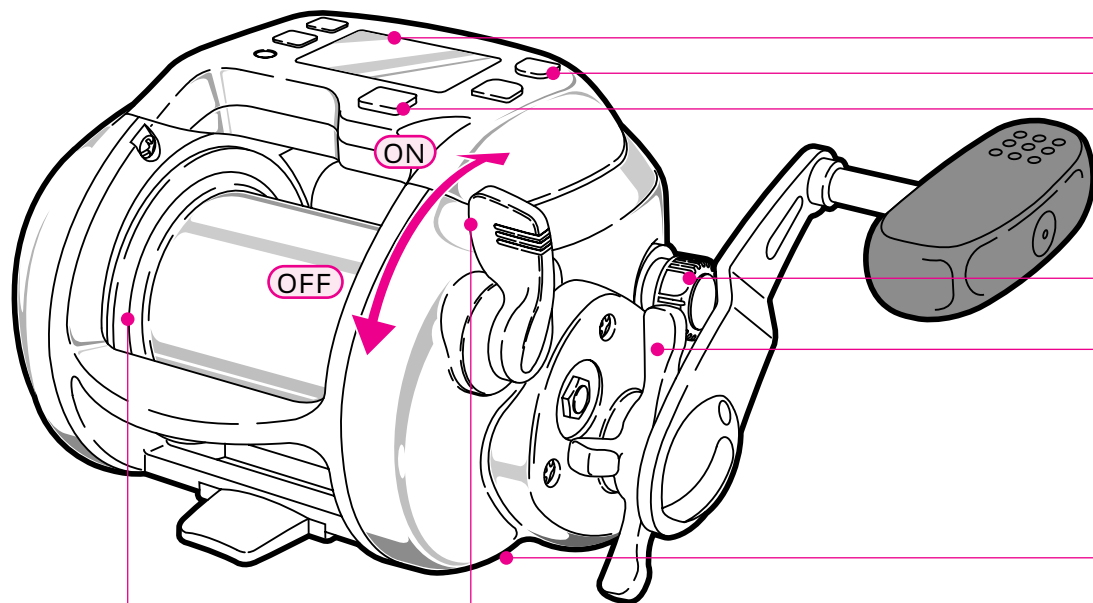


3秒以上



ダブルクリック

各部の名称



デジタルカウンター

変速スイッチ

メインスイッチ

スプールコントロールツマミ

スプールの回転にブレーキをかけてシカケをおろす時のバックラッシュを防止します。

スタードラグ

魚が強く引いた時、ハリス切れをおこさないように糸を送り出す力を調整します。

ラインホルダー

糸を止めておくものです。

クラッチ

ハンドル正転または手で戻すとONになります。

ON : シカケの巻き上げ

OFF : スプールをフリーにしてシカケをおろします。

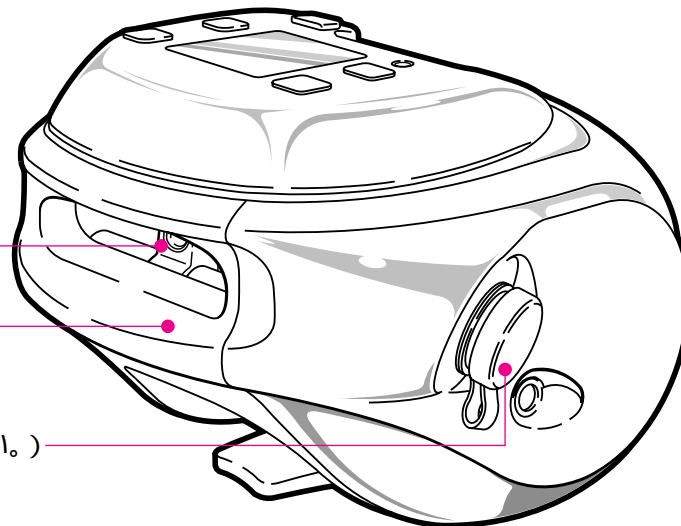
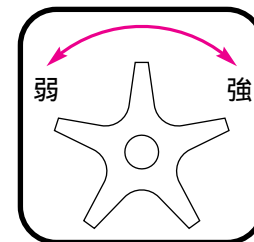
8号-200m・10号-200mの下巻ライン

DDL(ダイレクトドライブレベルwind)

電動巻き上げ時に指をはさまないように注意してください。

セーフティレベルwindカバー

電源コネクター(使用時は防水キャップを外してください。)



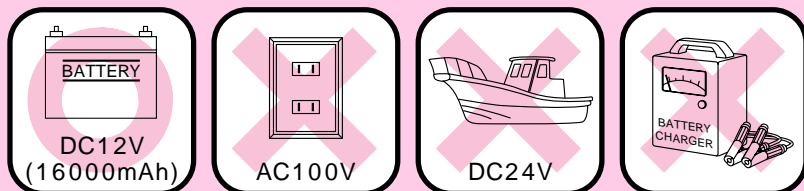
電源とコードについて

1 お取り扱い上の注意

電源について

電源は、直流 (DC) 12V です。(容量は 16,000mAh 以上のもののご使用をおすすめします。) 指定外の電源 (たとえば家庭用の交流 100V、船装備の直流 24V など) では使用できません。

バッテリーチャージャーなどは、絶対に使わないでください。



船に備え付けの電源を利用される時は、電圧が直流 (DC) 12V であること (船のバッテリーをご使用になる場合は 12V を直接とるのではなく DC-DC コンバータにより 24V から 12V に変換されたものに限りま) をご確認ください。また、端子がサビしているとリールが正常に作動しない場合がありますので、サビを取り除いてご使用ください。

十分に充電したバッテリーをご使用ください。

釣行後、バッテリーは長持ちさせるためすぐに充電してから保管してください。

そして再度、釣行前に充電してご使用ください。

バッテリーは長期間使用されますと、次第に充電できる容量が少なくなります。その場合は、バッテリーのみ新しいものをお求めください。

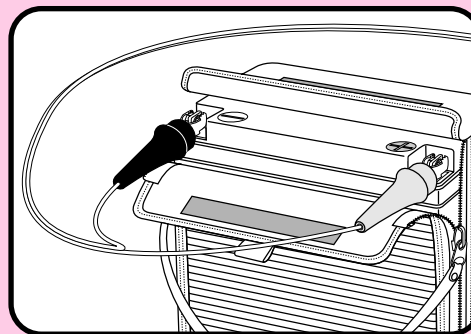
コードについて

電源との接続は、必ず付属のシマノ純正電源コードを用いてください。

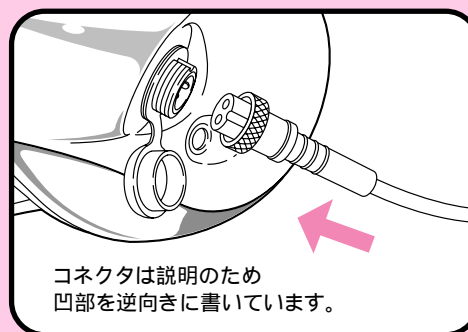
ご注意: 純正以外のコードを使用されると、リールが正常に作動しない場合があります。また、電源コードは乱暴に扱わないでください。踏んだり、折り曲げたりすると、故障の原因となります。

2 バッテリーとの接続方法

- 1 まず、バッテリーに付属の電源コードを接続してください。下図のように、赤クリップを (+) 側に、黒クリップを (-) 側に つないでください。



- 2 それから、リールと電源コードを接続します。電源コードのプラグの凹部と、リールの電源のコネクターの凸部を合わせ、奥まで差し込んで、ネジを締めてください。

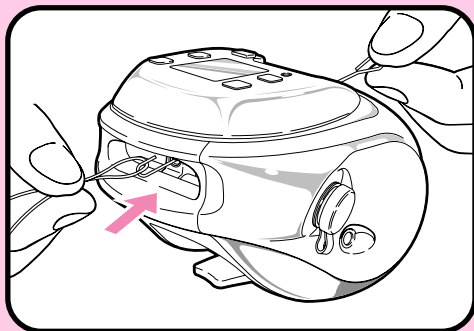


コネクタは説明のため凹部を逆向きに書いています。

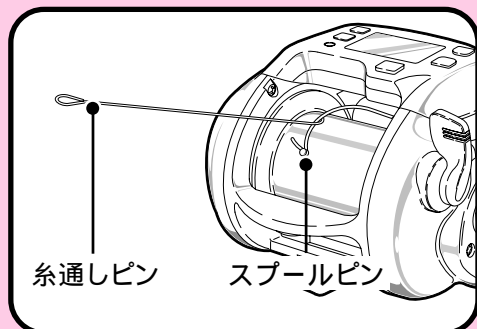
学習方法

糸をセットします。

- 1 糸をレベルwindに通します。
糸を通すときは、付属の糸通しピンを使用することをおすすめします。



- 2 スプールピンに糸を結んでください。

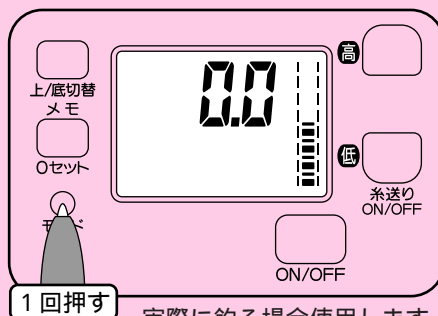


モードスイッチについて。

モードスイッチは1回押すごとに下記のように切り替わります。
使用する糸の種類に合ったモードを選択します。(次ページからの説明を参照)

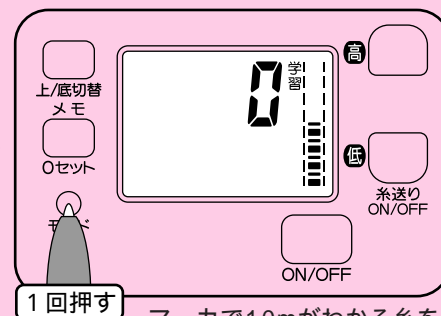
12V電源をつないでいないとこの操作は行えません。

電動標準モード



実際に釣る場合使用します。
電源ON時はこの状態です。

学習モード

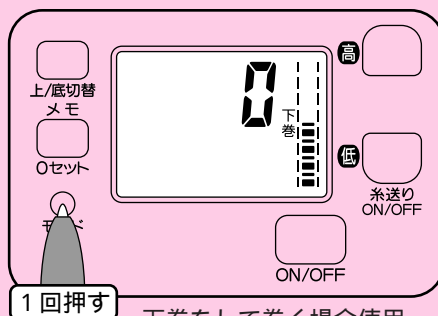


マーカで10mがわかる糸を巻く場合使用します。

ピピッ

標準モードに
戻ります。

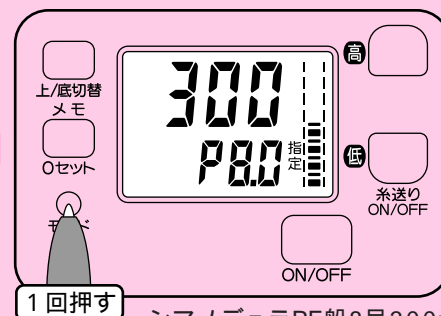
下巻モード



下巻をして巻く場合使用します。

ピッ

指定モード



シマノデュラPE船8号300mを巻く場合使用します。

学習方法

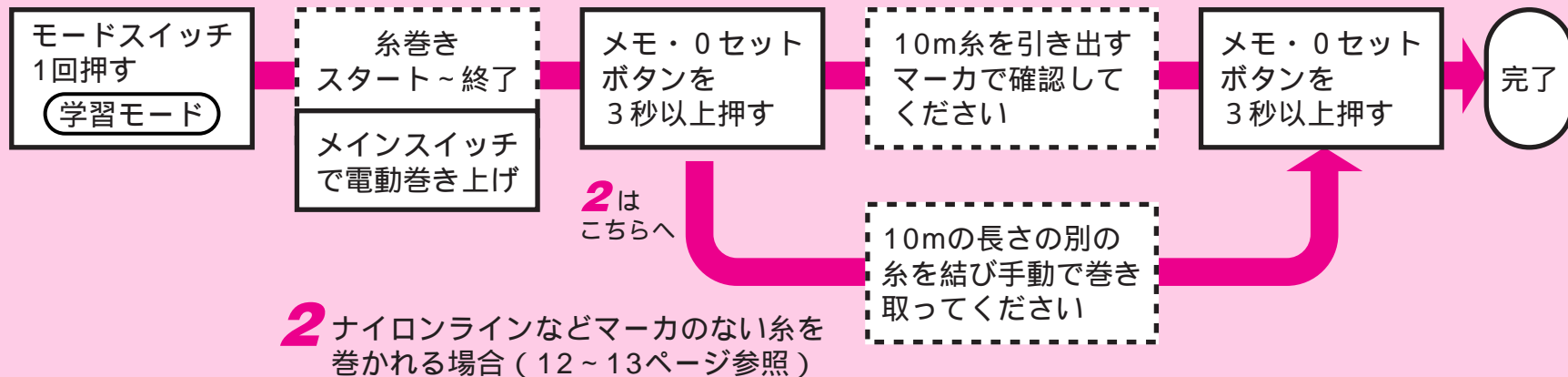


糸を巻く前にどのようにするのか、全体の流れをつかんでください。
大きくは下図の**1**～**5**までの5通りの学習方法があります。より詳しい説明はそれぞれのページを参照してください。

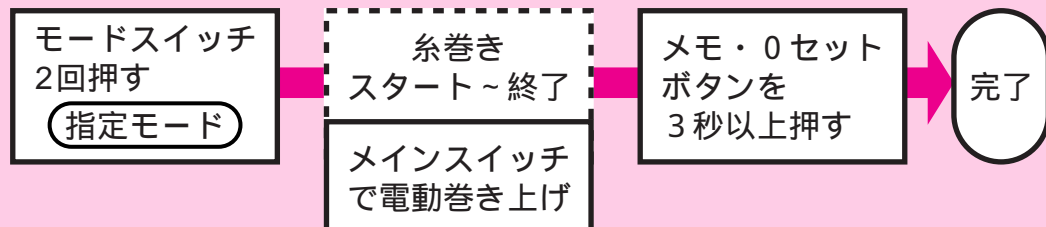
12V電源をつないでいないとこの操作は行えません。

下巻なしでフルに巻くなら...

1 メータごとのマーカのある糸を巻かれる場合（10～11ページ参照）



3 シマノ・デュラPE船8号300mを巻かれる場合（14～15ページ参照）

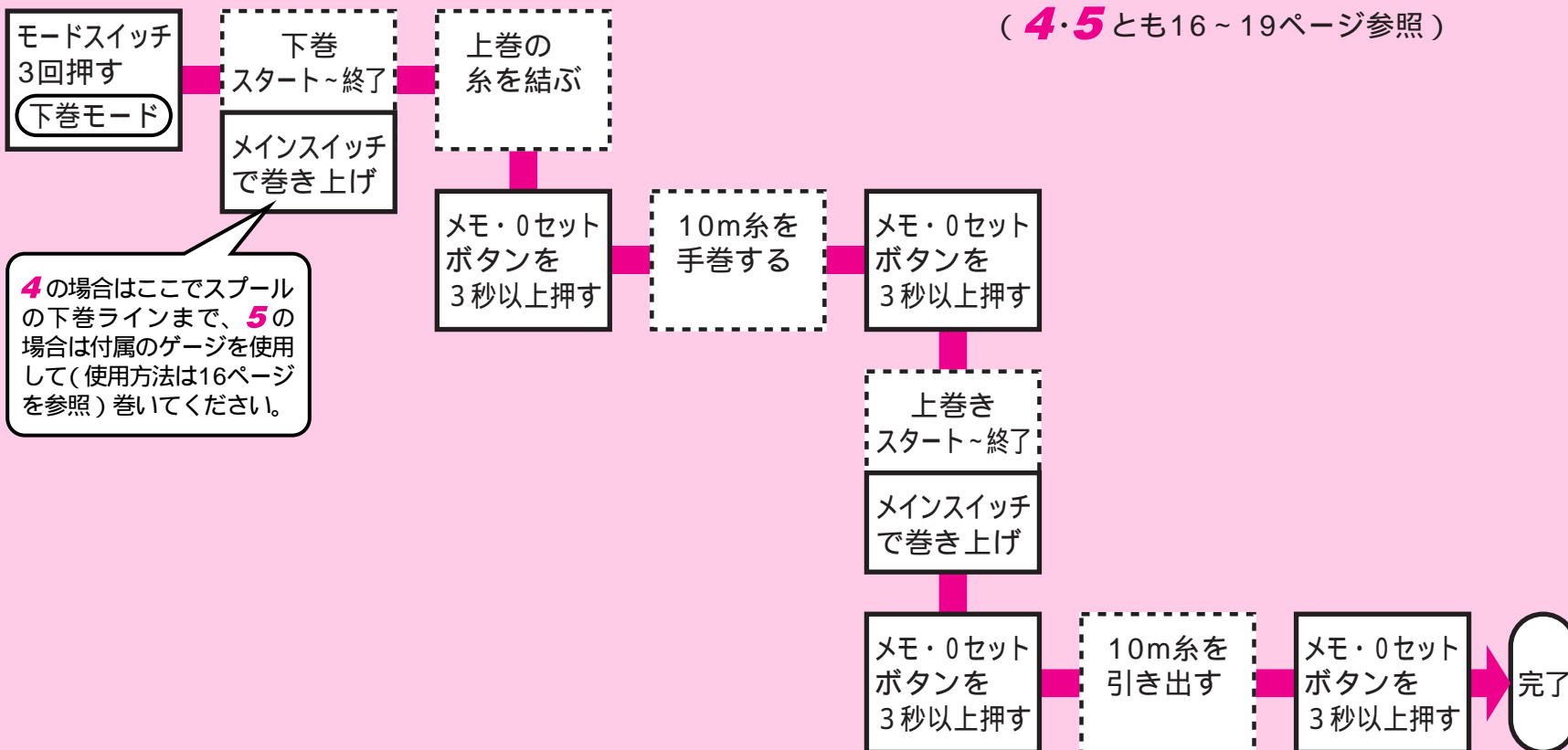


下巻をして巻くなら...

4 PEライン8号200m/10号200mを巻かれる場合:スプールの下巻ラインを使用

5 それ以外の号数・mを下巻きして巻く場合でも、付属の「下巻ゲージ」を使えば簡単です。

(**4・5** とも16~19ページ参照)



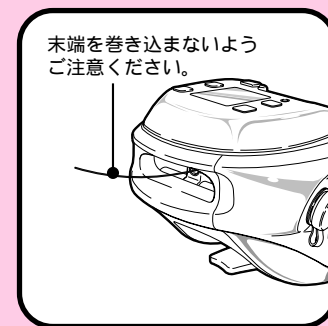
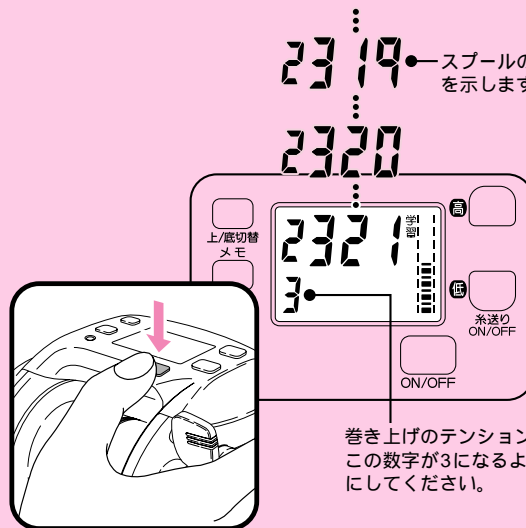
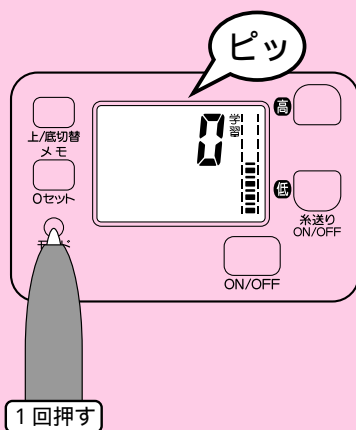
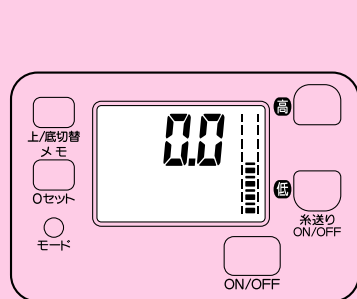
4の場合はここでスプールの下巻ラインまで、**5**の場合は付属のゲージを使用して(使用方法は16ページを参照)巻いてください。

学習方法 (使用するラインの実測値をリールに記憶させます。)



1 メータごとのマーカのある糸を巻かれる場合(学習モードを使用します。)

ナイロン糸など(メータのマーカのない糸)を巻かれる場合は12~13ページをごらんください。
また、デュラPE(新素材)8号を300m巻いたデータはすでにインプット済みです。(指定モード・14~15ページ参照)
下巻を行っての学習も可能です。(下巻モード・16~19ページ参照)

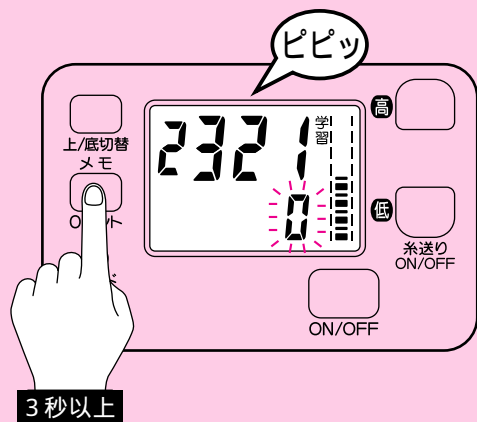


1 クラッチレバーをONにしてください。そして、電源の接続を確認してください。
デジタル表示は図のようになります。

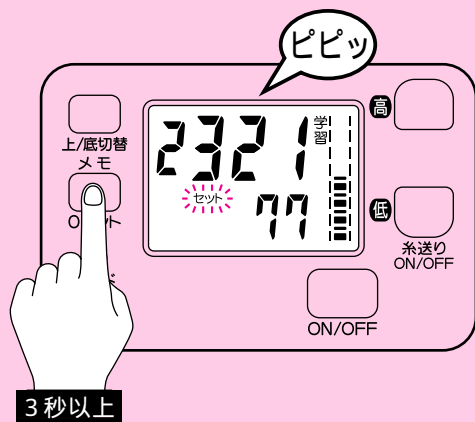
2 先の細いボールペンのようなもので、モードスイッチを1回押すと「学習」が表示され、学習モードになります。モードスイッチを2回以上押しすぎた場合、学習が表示されるまで何回か押してください。

3 メインスイッチを押して糸を巻いてください。回転数が表示されます。巻き上げのテンションは左下の数字が3になるようにしてください。この数字はリールが巻き上げている力(糸のテンション)を数字で表示します。数字=kgではありません。

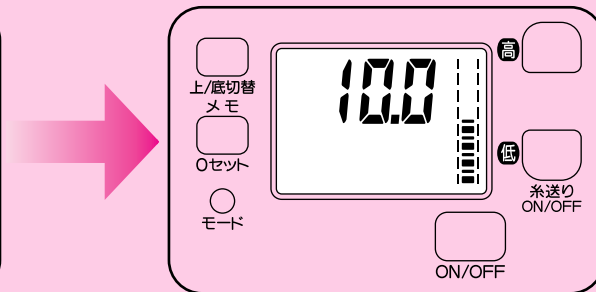
巻き上げ速度は変速ボタンで調節できます。巻くの止めるときは、もう一度メインスイッチを押してください。
ラインが残りが少なくなってきたら、末端(上図)を巻き込まないように注意して、できれば手巻きをしてください。末端をまきこんでしまうと正確な入力ができなくなります。



- 4** 糸を完全に巻き終えたら、メモ・0セットボタンを3秒以上押してください。表示は図のようになります。



- 5** 糸を正確に10m分引き出します。(糸の10mごとの色の变化、もしくは1mごとのマーカの数で確認します。)回転数が下段に表示されます。学習を終了するため、メモ・0セットボタンを3秒以上押してください。「セット」が表示されます。各入力途中でモードスイッチを誤って押してしまった場合、途中のデータはキャンセルとなります。糸を出してもう一度 **2** からやり直してください。

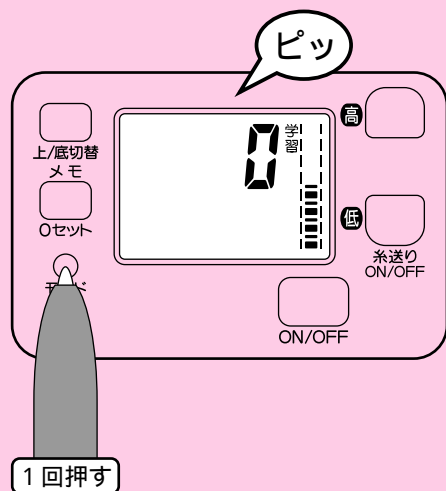


- 6** 表示が上からモードに戻り、学習は完了です。(カウンターの数値と実際の糸の出た長さとは最大で±3%の誤差が生じる場合があります。)誤差とは、学習後1投目の誤差です。
- 7** 引き出した10m分の糸を巻き取ってください。

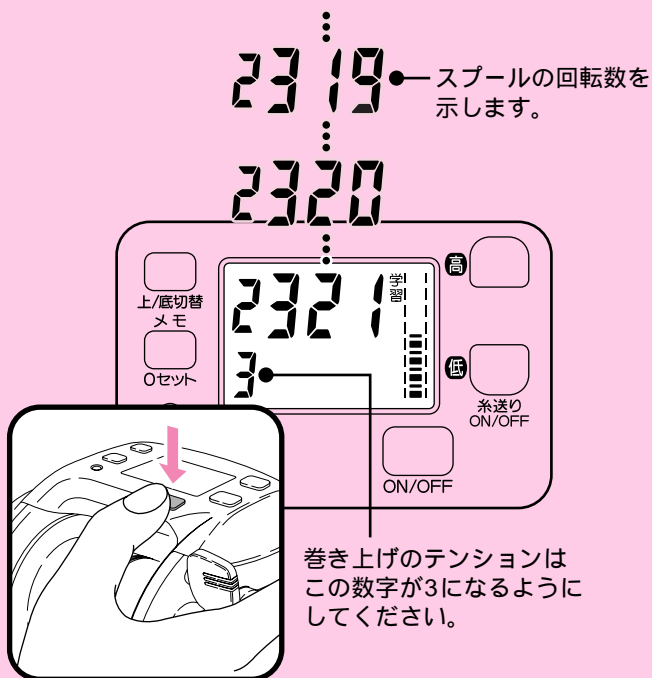
学習方法 (使用するラインの実測値をリールに記憶させます。)



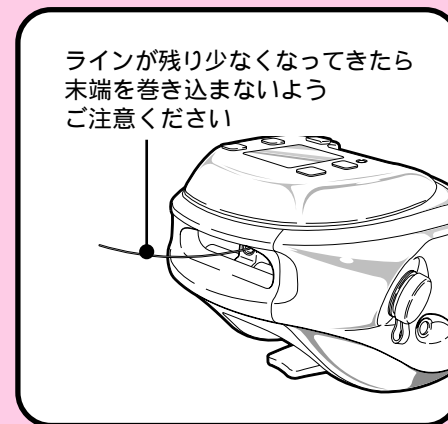
2 ナイロンラインなどマーカのない糸を巻かれる場合(学習モードを使用します。)



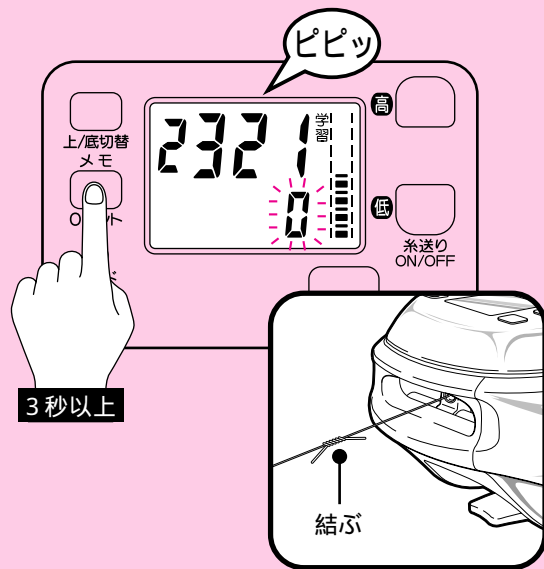
1 クラッチレバーをONにしてください。
そして、電源の接続を確認してください。
先の細いボールペンのようなもので、モードスイッチを1回押すと「学習」が表示され、学習モードになります。
モードスイッチを2回以上押しすぎて指定・下巻モードになってしまった場合、学習が表示されるまで何回か押してください。



2 メインスイッチを押して糸を巻いてください。
回転数が表示されます。
巻き上げのテンションは左下の数字が3になるようにしてください。
この数字はリールが巻き上げている力(糸のテンション)を数字で表示します。数字=kgではありません。

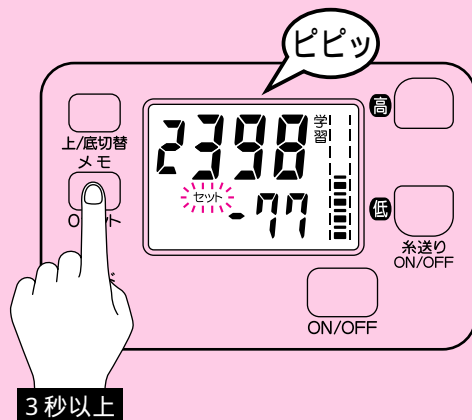


巻き上げ速度は変速ボタンで調節できます。
巻くの止めるときは、もう一度メインスイッチを押してください。
ラインが残り少なくなってきたら、末端 上図 を巻き込まないように注意して、できれば手巻きをしてください。
末端をまきこんでしまうと正確な入力ができなくなります。



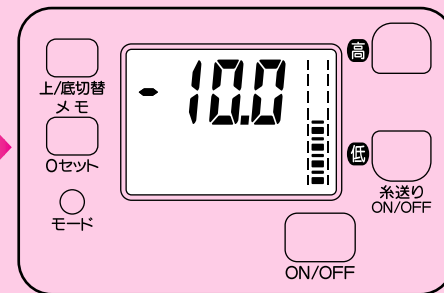
3 糸を完全に巻き終えたら、メモ・0セットボタンを3秒以上押してください。表示は図のようになります。

4 巻き取った糸の先に長さ10mの別の糸を結びつけます。



5 結びつけた糸を手巻きで巻き取ります。回転数が下段に表示されます。学習を終了するため、メモ・0セットボタンを3秒以上押してください。「セット」が表示されます。

各入力途中でモードスイッチを誤って押してしまった場合、途中のデータはキャンセルとなります。糸を出してもう一度**1**からやり直してください。



6 表示が上からモードに戻り、学習は完了です。(カウンターの数値と実際の糸の出た長さとは最大で±3%の誤差が生じる場合があります。) 誤差とは、学習後1投目の誤差です。

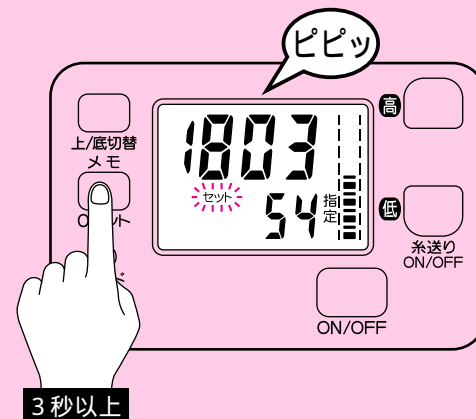
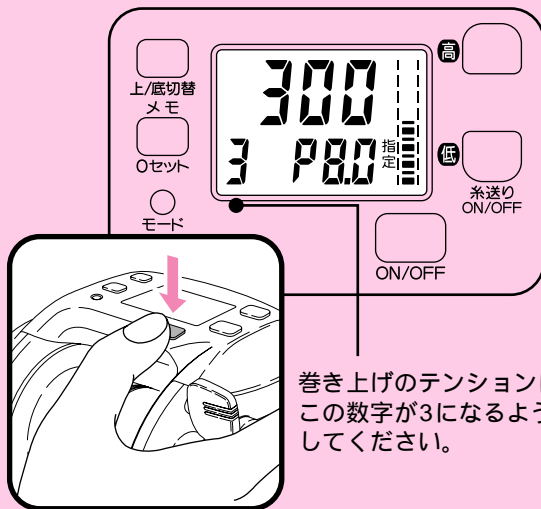
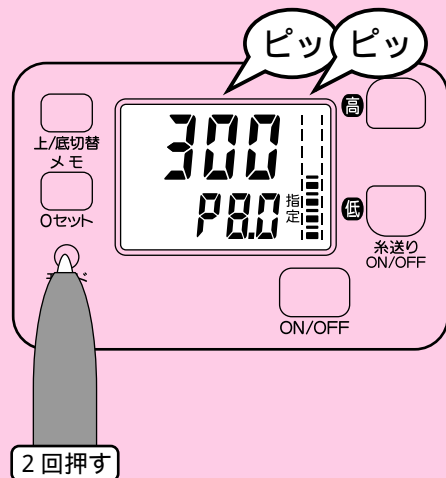
7 結びつけた糸を引き出して、取りはずしてください。

学習方法 (インプットずみのラインデータも使用できます。)



3 シマノ・デュラPE船8号300mを巻かれる場合(指定モードを使用します。)

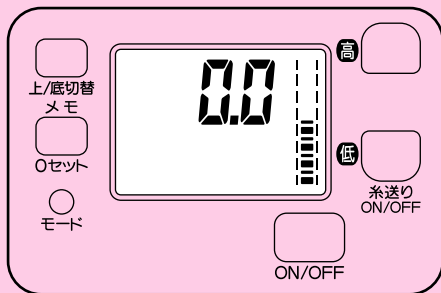
このリールにはデュラPE(新素材)8号を300m巻いたデータがインプットされています。
この糸を巻かれる場合は次のような操作をしてください。



- 1 先の細いボールペンのようなものでモードスイッチを2回押ししてください。「指定」が点灯、図のように表示され、指定モードになります。モードスイッチを2回以上押しすぎて下巻・学習モードになってしまった場合、指定が表示されるまで何回か押ししてください。

- 2 これで糸を巻きます。左下の数字が3になるテンションで、巻いてください。電動巻き上げは300mの約10m手前で自動的にストップします。残りの糸を手巻きで巻いて下さい。

- 3 糸を完全に巻き終わったら、学習を終了するためメモ・0セットボタンを3秒以上押ししてください。表示は図のようになり、「セット」が表示されます。各入力途中でモードスイッチを誤って押してしまった場合、途中のデータはキャンセルとなります。糸を出してもう一度1からやり直してください。



4 表示が上からモードに戻り、学習は完了です。

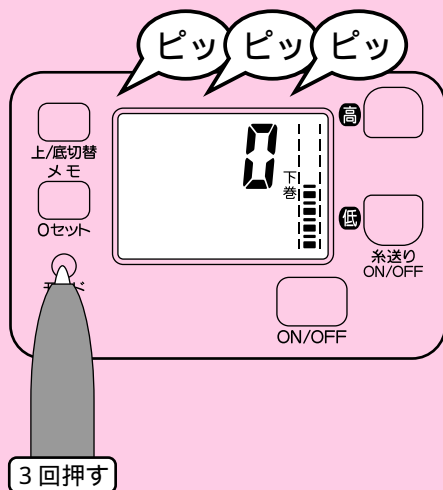
ご注意:他社PE8号300mを使用される場合
カウンターの誤差が3%を超えて生じることがあります。

学習方法 (下巻を行っての学習も可能です。)

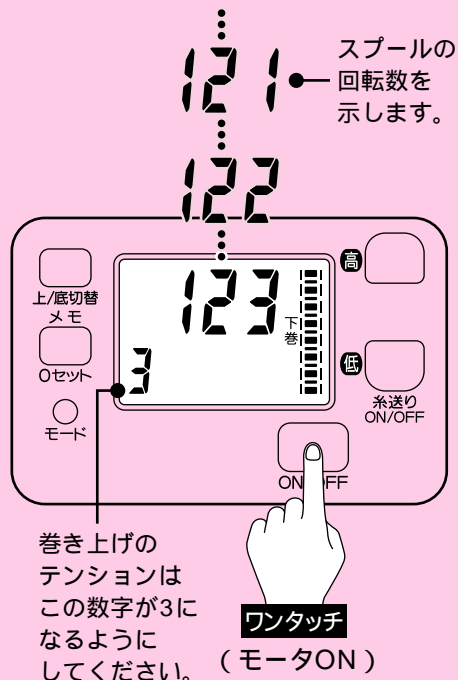


4 PEライン8号200m/10号200mを巻かれる場合:スプールの下巻ラインを使用(下巻モードを使用します。)

5 それ以外の号数・mを下巻きして巻かれる場合:付属下巻ゲージを使用(下巻モードを使用します。)



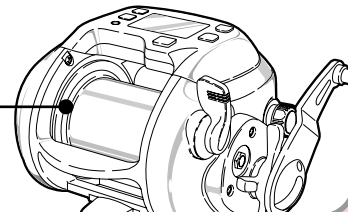
1 先の細いボールペンのようなものでモードスイッチを3回押してください。「下巻」が点灯、図のように表示され、下巻モードになります。モードスイッチを3回以上押しすぎて指定・学習モードになってしまった場合、下巻が表示されるまで何回か押してください。



2 右の要領でそれぞれ下巻を行います。メインスイッチを押して糸を巻いてください。上図は高速で下巻している場合の表示です。左下の数字が3になるテンションで巻いてください。

4 の場合

スプールの下巻ラインまで下巻します。



5 の場合

号数マークをスプール外周に合わせる

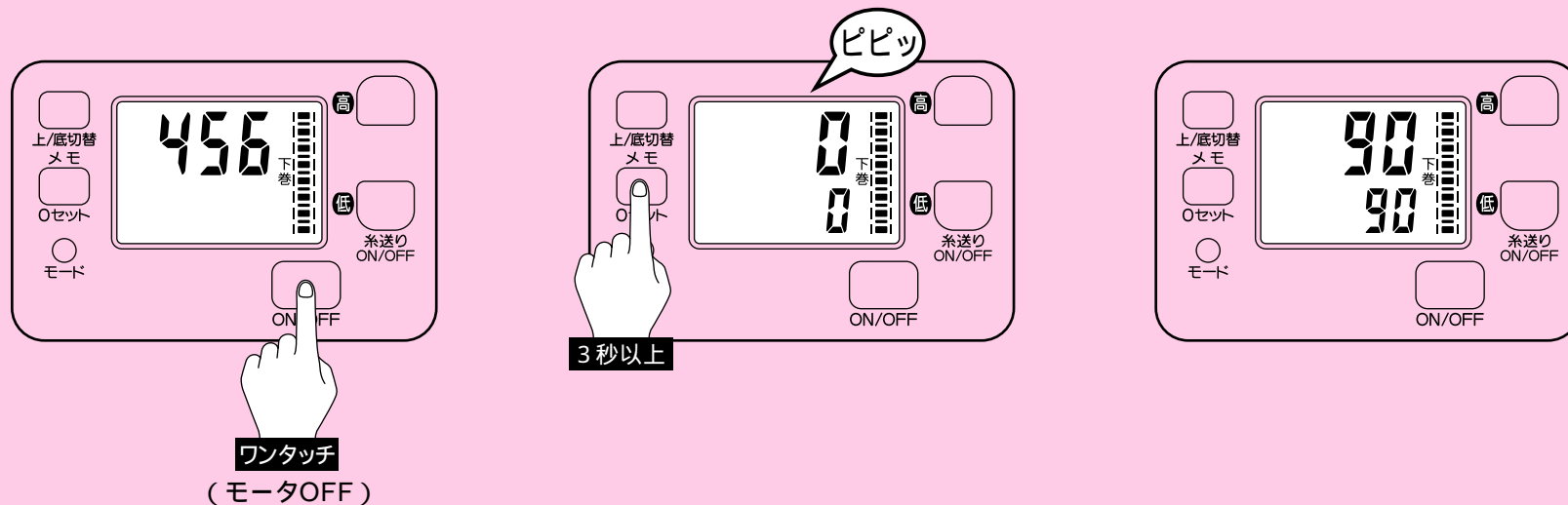
垂直に差し込む



ゲージの使用法

上図のように付属のゲージをスプールに垂直に差し込み、号数マークをスプールの外周に合わせます。スプールとゲージの間にできたすき間(図の斜線部)が下巻をする範囲です。ゲージに当たるまで下巻をしてください。

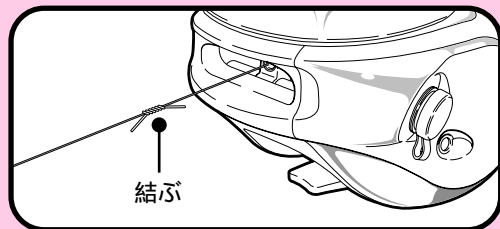
注意:カウンター内の数値は例として表示しています。実際に巻かれる場合に同じ数値を示すわけではありません。



- 3** 巻くのを止めるときは、もう一度メインスイッチを押してください。

- 4** メモ・0セットボタンを3秒以上押してください。表示は図のようになります。

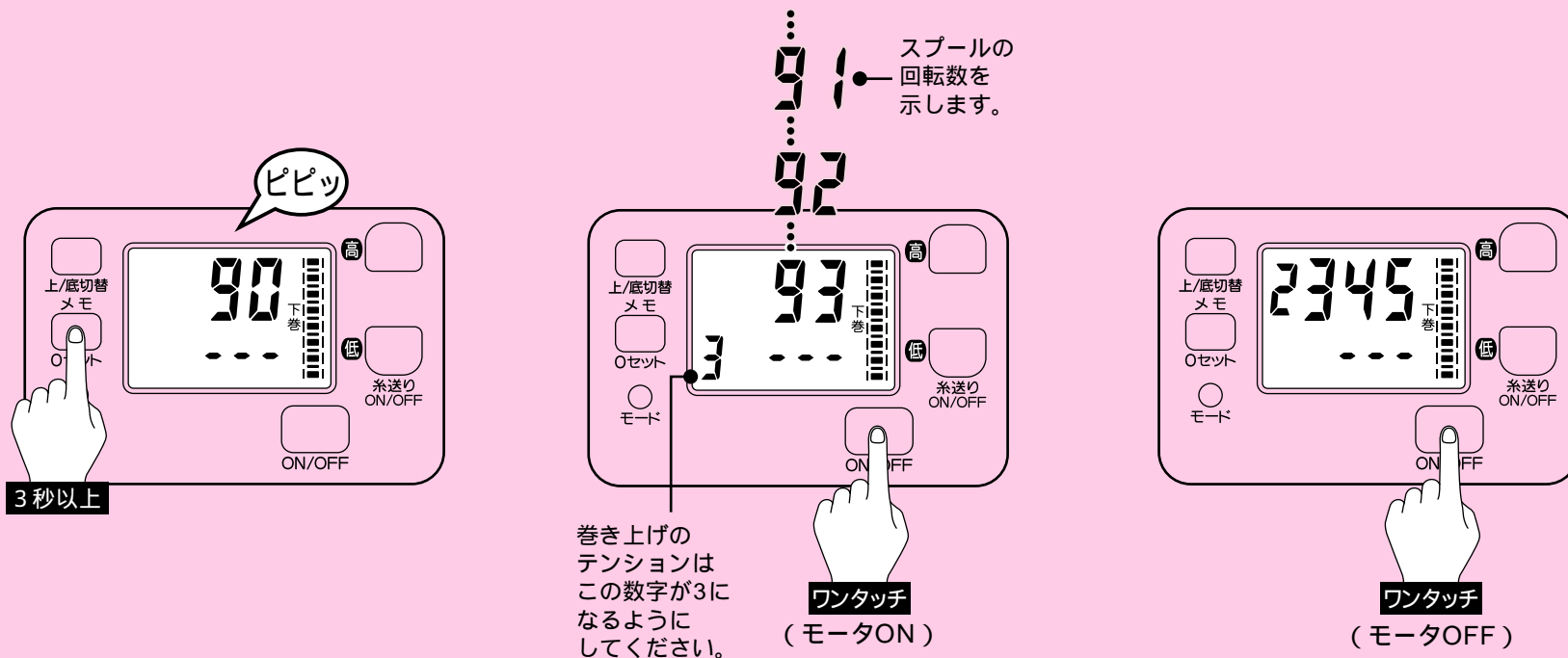
- 5** 上巻糸を正確に10m分手巻きで巻き取ります。回転数が下段に表示されます。



下巻を終えたら、このように下巻に上巻用の糸を結びます。

次ページにつづく

注意:カウンター内の数値は例として表示しています。実際に巻かれる場合と同じ数値を示すわけではありません。

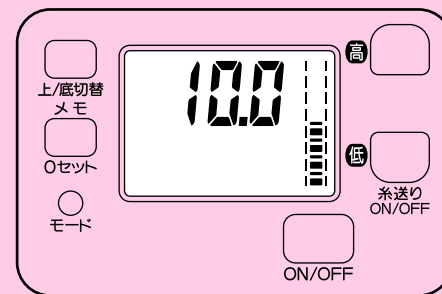
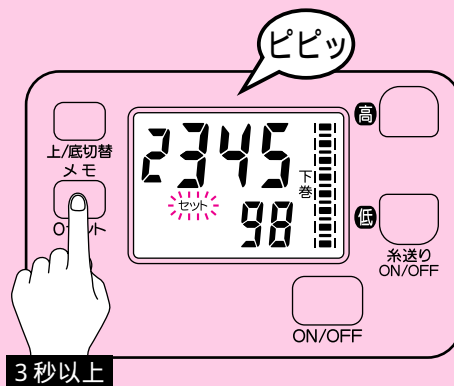
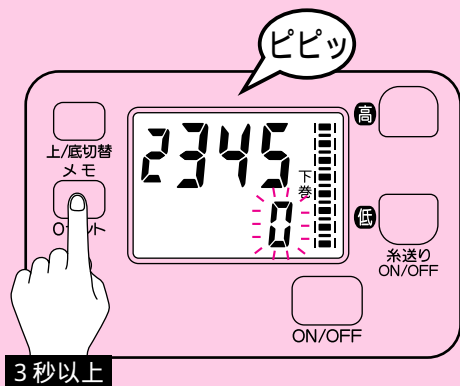


6 メモ・0セットボタンを3秒以上押してください。
表示は図のようになります。

7 上巻糸を学習するため、メインスイッチを押して
残りの糸を巻いてください。
左下の数字が3になるテンションで巻いてくだ
さい。

8 巻くのを止めるときは、もう一度メインスイッチ
を押してください。

注意:カウンター内の数値は例として表示しています。実際に巻かれる場合に同じ数値を示すわけではありません。



9 糸を完全に巻き終わったらメモ・0セットボタンを3秒以上押してください。表示は図のようになります。

10 糸を正確に10m分引き出します。(糸の10mごとの色の变化、もしくは1mごとのマーカの数で確認します。)回転数が下段に表示されます。学習を終了するため、メモ・0セットボタンを3秒以上押してください。「セット」が表示されます。各入力途中でモードスイッチを誤って押してしまった場合、途中のデータはキャンセルとなります。上巻分の糸を出してもう一度**4**からやり直してください。

11 表示が上からモードに戻り、学習は完了です。(カウンターの数値と実際の糸の出た長さとは最大で±3%の誤差が生じる場合があります。)誤差とは、学習後1投目の誤差です。

12 引き出した10m分の糸を巻き取ってください。

手順について (4000HPをはやく、有効に使いこなすためには...)



かんたん手順

これさえ知って
いればとにかく
使えます。



べんり手順

簡単で、とっても
便利です。

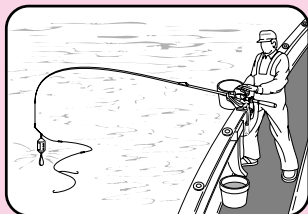


もっともっと べんり手順

知れば知るほど
あなたの釣りの世界
が広がります。



0セット

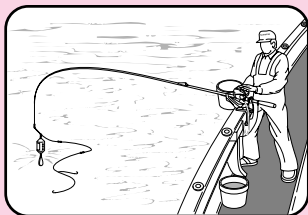


ボタンひとつでシカケが水面
にあるとき、0mになるよう
設定。狙った水深に正確に
シカケを投入できます。

くわしくはP24へ!!



高切れ時

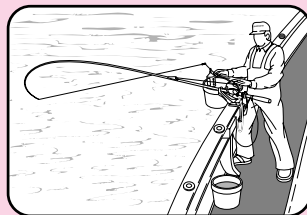


シカケを結びなおし、水面に
シカケを合わせて、0セット
ボタンを3秒以上押します。
簡単操作で高切れ補正が可能
です。

くわしくはP26へ!!



船べり停止

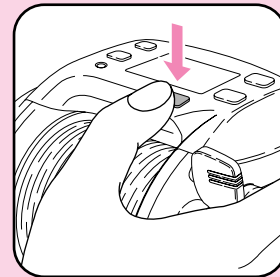


竿を立てるとシカケが手元に
ピッタリもどる、船べり停止
機能は手返しにダンゼン差が
つきます。

くわしくはP27へ!!



電動巻き上げ



エサの付けかえをするとき
あるいはアタリがあれば、
メインスイッチを押すだけで、
らくらく巻き上げ。

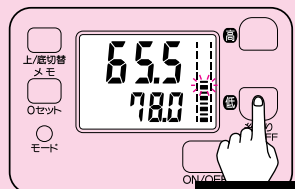
くわしくはP29へ!!

4000HPの機能は大きく分けて3タイプ。あなたの釣り方の好みにあわせてお好きな手順をどうぞ。



ワンタッチ

変速スイッチ



ワンタッチ

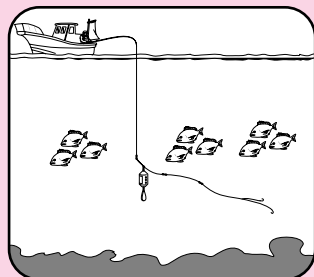
ワンタッチで15段階のスピードに切り換えられるから自由自在のスピード調整。

くわしくはP29へ!!



タナ深さ

タナセット



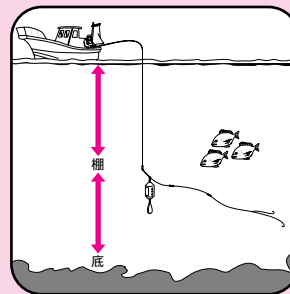
棚の水深を自動的に記憶するので何度でも効率よく狙えます。もちろん手動でのセットも可能。

くわしくはP30へ!!



上・底から

上から・底から モード切替え



釣場、釣り方、対象魚など場合に応じたカウンター表示「上からモード」「底からモード」が切り替え可能。棚の水深が一目でわかります。

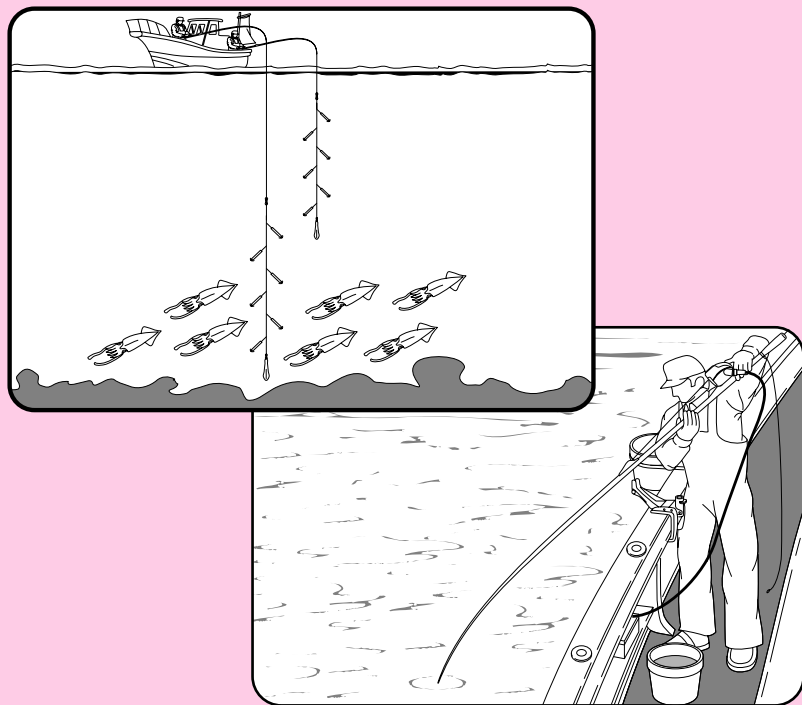
くわしくはP31へ!!



応用 その1

シカケを速く落すテクニック。

(特にイカを狙うときに有効なテクニックです。)



一般的には、スプールコントロールツマミを締めて、スプールのフリー回転を少し悪くし、船の上下動による糸のバックラッシュを防ぎます。

しかし、より速くシカケを落とすためには、スプールコントロールツマミを使わずに、自分の指でスプールをサミングしてください。

この他にも次のようなテクニックがあります。

この電動丸4000HPには自動糸送りの機能が付いています。シカケを投入して水深が10m以上になったら自動的にモーターのスイッチがONになります。モーターの回転の反動で、スプールが糸の出る方向に回ります。

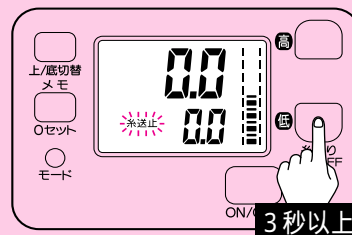
クラッチをリターンさせるとモーターの回転は自動的にストップします。また、糸送り中にメインスイッチを押すと今回の糸送りを中止できます。

竿先を下に向け、竿全体を立てることで、ガイドの抵抗を少なくすることができます。

出荷時は自動糸送り機能が作動するようになっています。ガイドの抵抗、バックラッシュなどでこれを解除したいときは変速スイッチの低の方を3秒以上押します。「糸送止」の表示が点灯し、これが作動しくなります。(速度表示はもとにもどります。)

もう一度作動させたいときは同様の操作をおこなってください。

電源を切っても、この操作をするまでは「糸送止」の状態が続きます。





応用 その2

電動+手動でスピーディーにシカケを回収するテクニック。

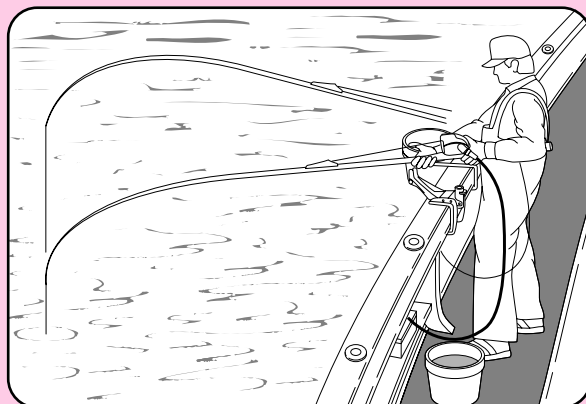


手返しの時やポイントの移動時のシカケのカラ巻きをスピーディーに行なうテクニックです。変速スイッチを高速にして電動で巻き上げ、さらに手動で巻き上げると速く巻けます。(この時、ロッドキーパーに竿を取り付けたまま行えば楽です。)



応用 その3

電動巻き上げで魚をバラさないテクニック。



電動なら手動よりも、スムーズに巻き上げることができます。さらに、このテクニックを使えば魚のバラシをおさえることができます。

竿はロッドキーパーから外し、手で持ってください。

船の上下、魚の引きで電動の巻き上げが少しスリップする程度にドラグを調整します。

波による船の上下を吸収するように、竿先を上下させます。これにより巻き上げ速度を一定に保ちます。

0(ゼロ)セットの設定 (釣りを始める前に必ず行なってください。)



正確な棚取りを実現するために。

釣果アップには、正確な棚取りが不可欠です。

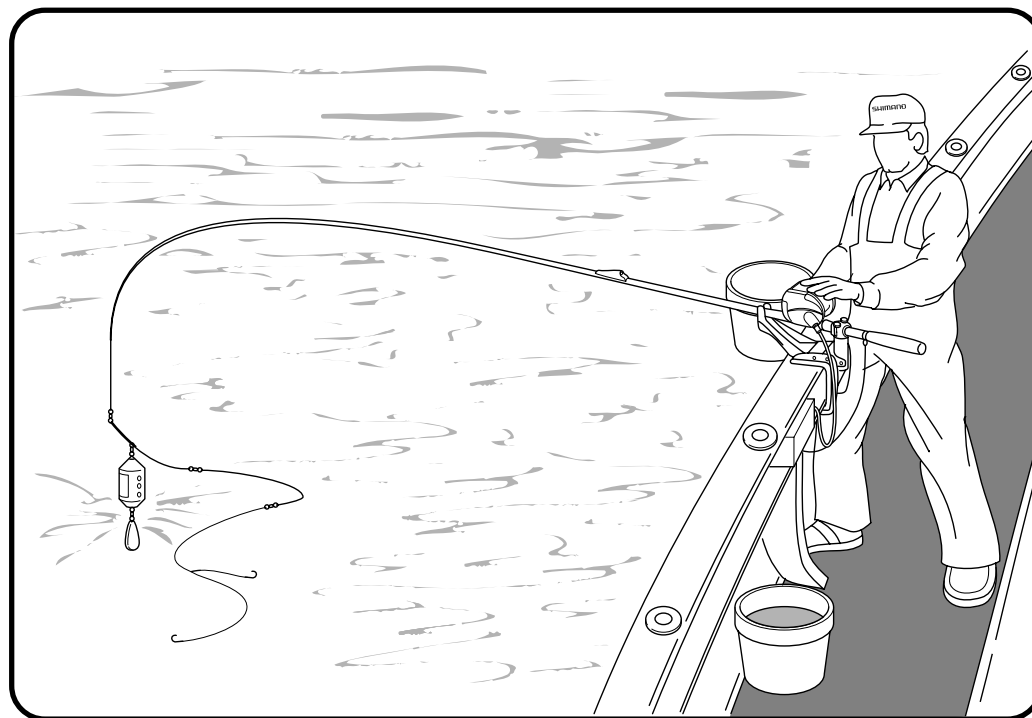
そこで「0セット」を設定します。

「0セット」とは、シカケが水面にある時を

0mとして設定することです。

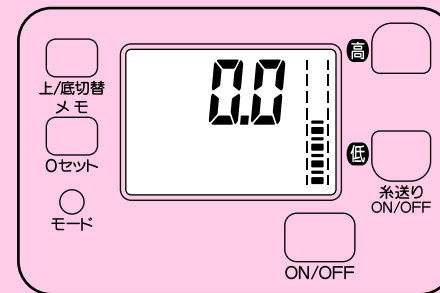
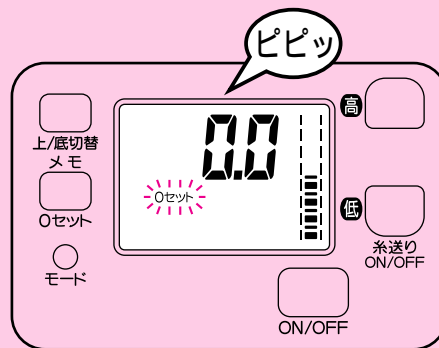
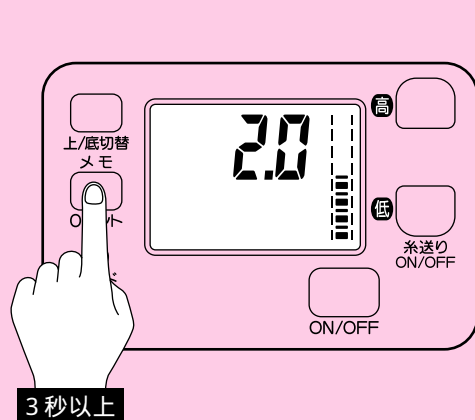
「0セット」によって、シカケの位置が水深を示すようになり、正確な棚取りを可能に

します。



シカケが水面にある時を0mとして設定します。

0セットを試みましょう。

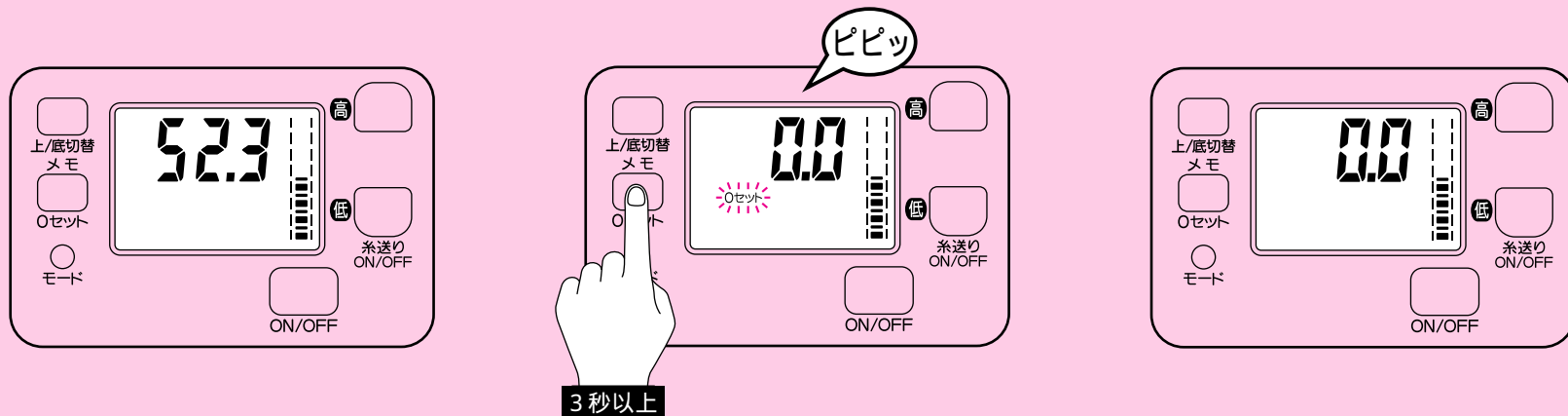


- 1 シカケを水面に合わせ、0セットスイッチを3秒以上押して下さい。
(図は上からモードになっています。)
- 2 上図のように表示が変わります。
- 3 0セットの表示が消えれば、これで0セットは完了です。

高切れの補正



高切れした場合も、簡単操作で補正が可能です。



1 高切れしたところまで糸を巻き上げます。

2 シカケをセットして水面に合わせ、0セットスイッチを3秒以上押してください。

2 これで、コンピュータが自動的に高切れした位置からの実測値表示にプログラムを変更します。

船べり停止について



船べり停止

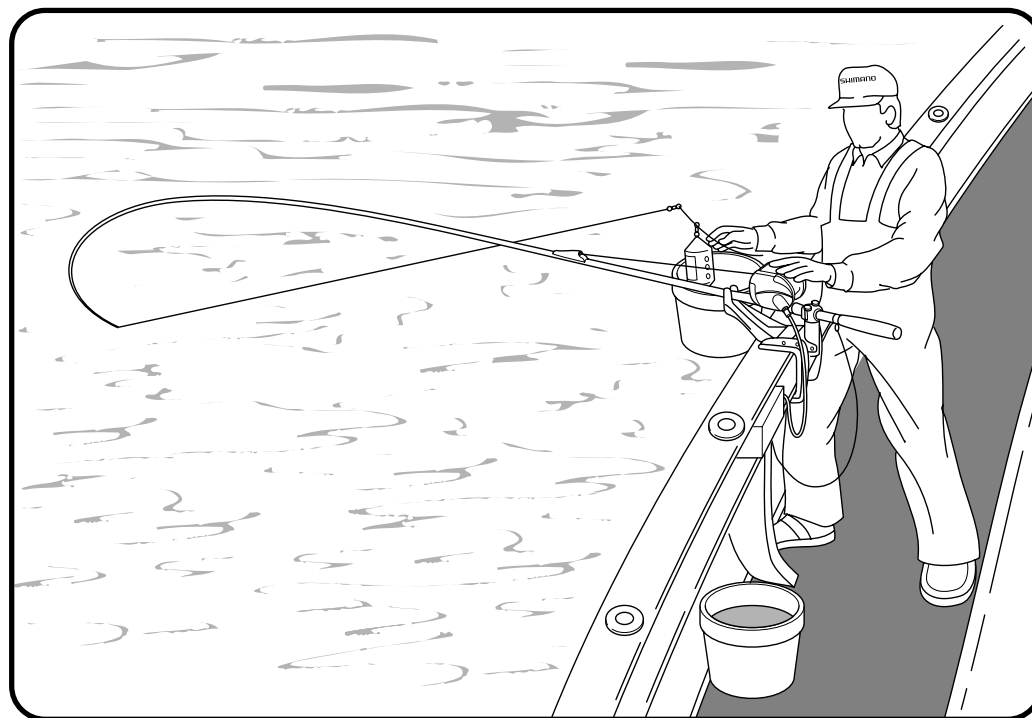
ように自動的に設定されます。

電動巻き上げ停止後、竿を立てればシカケが手元にもどります。

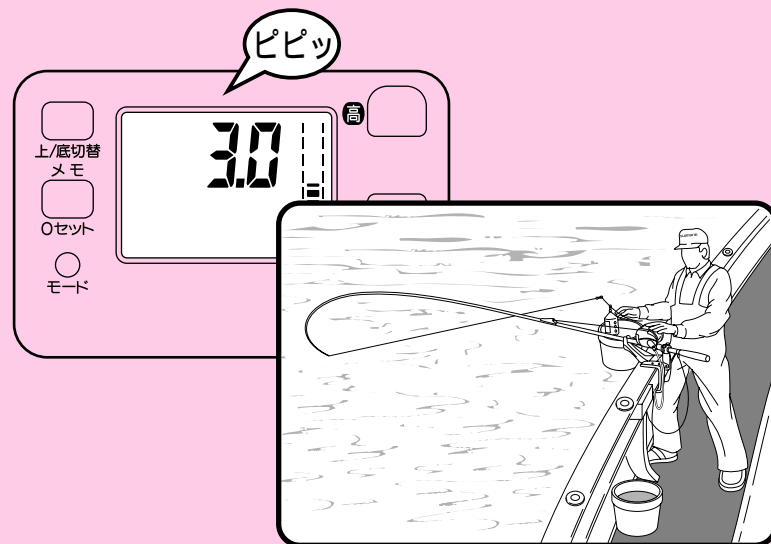
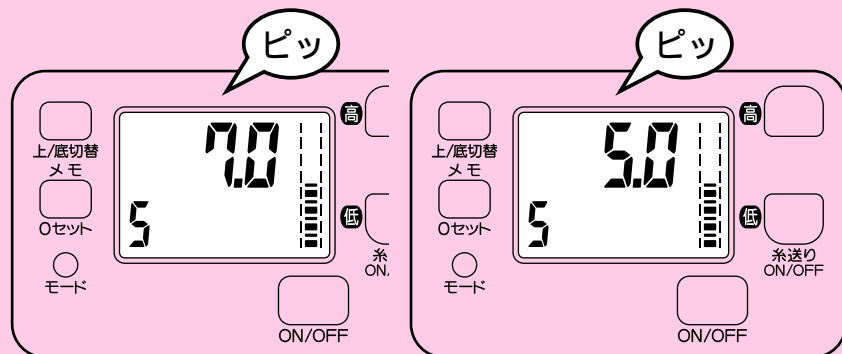
船べり停止後、竿を立てたときにシカケが手元にくる

電源投入時初回のみ6mで船べり停止します。2回目以降はコンピュータが自動的に判断してシカケは前回の投入の位置で停止します。

(この機能は1m～6mの範囲で作動します。)



船べり停止位置の4m手前からアラームでお知らせします。



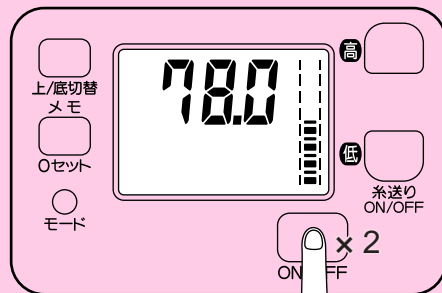
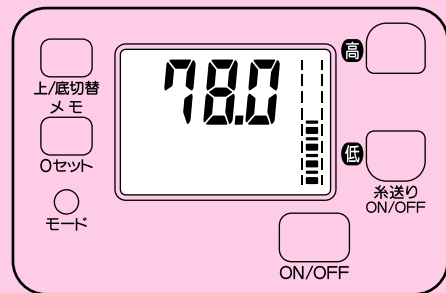
- 1 セットされている船べり停止位置の4m手前から、2mごとにアラームでお知らせします。
(図は上からモードになっています。)

- 2 船べり停止位置(この場合は3.0m)で2回アラームが鳴り、自動的に巻き上げを停止します。
船べり停止後、竿を立てるだけで手元にシカケがくるので、すばやく上図のようにとりこむことができます。

電動巻き上げと変速スイッチの使い方



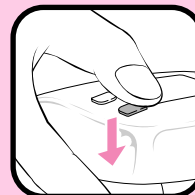
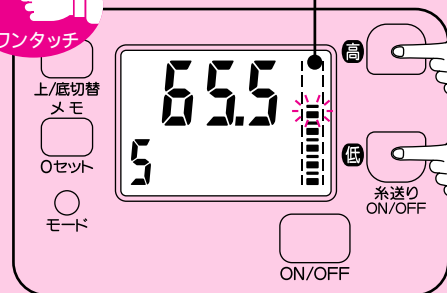
電動による巻き上げです。一番基本的な操作です。



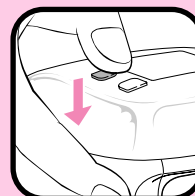
ダブルクリック



ここに電動巻き上げの設定の速さが表示されます

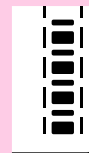


こちらを押すと速くなる



こちらを押すと遅くなる

ダブルクリック時 ダブルクリック解除時



スピード表示がこのように変わります



1 シカケを投入し、クラッチをONにします。
(図は上からモードになっています。)

2 エサの付けかえをするとき、あるいはアタリがあればメインスイッチを続けて2回押して電動連続巻き上げをします。

3 変速スイッチで、巻き上げる速度を調整します。
エサの付けかえ、コマセのつめかえなら高速で行えば手返しが早くなります。

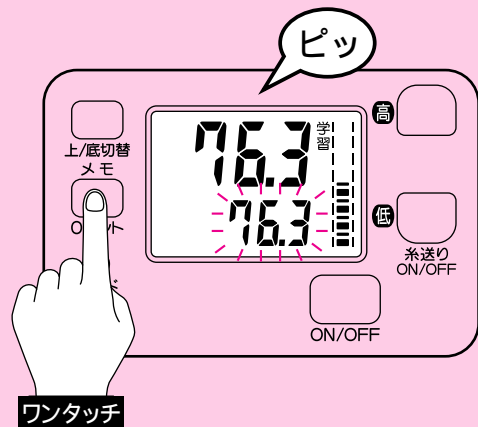
ダブルクリック操作の解除方法

高速・低速スイッチを同時に3秒以上押すとダブルクリック操作が解除され、メインスイッチ1回押しで連続巻き上げができます。再びダブルクリック操作の巻き上げに戻すには、高速・低速スイッチを同時に3秒以上押してください。

タナセット方法



シカケが正確に棚を狙うから、効率がグーンとアップします。



シカケをメモリーしたい水深(6.1m以上)に合わせ、メモスイッチを3秒未満押しします。
上図ですと76.3mの水深が棚の深さのところに入ります。このセットは何回でも入れ換えが可能です。
メモリーした水深が10.1m以上の場合、シカケが棚の位置にくると「メモアラーム」によって知らせてくれます。
(上から・底からモードとも)

注意：
メモを押さないかぎりは、通常表示されません。

2通りの棚の取り方・上からモードと底からモード



棚取りに便利な「上からモード」と「底からモード」。

船釣りで釣果を上げるコツは、いかに正確に魚のいる水深(すなわち棚)にシカケを降ろすかということです。

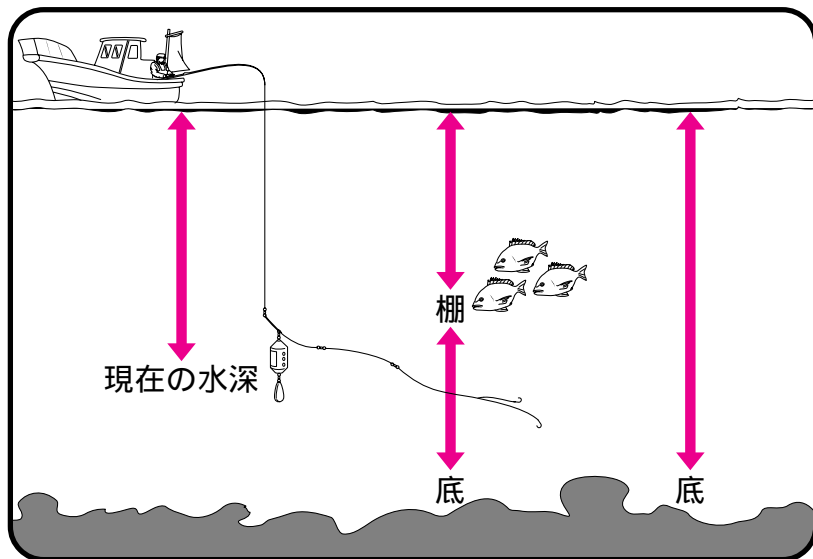
最近では高性能の魚群探知機により、魚のいる水深が正確にわかります。

通常、船長がこの棚を教えてください。この場合、釣場・釣り方・対象魚などによって水面から棚が指示される場合と、海底すなわち

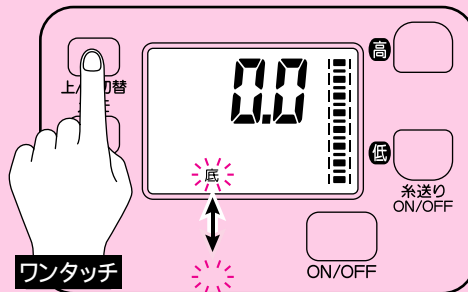
底から棚が指示される場合の2通りがあります。

NEW電動丸4000HPは、上から棚をとるのに便利な「上からモード」と底から棚をとるのに便利な「底からモード」の2つのモードを備えています。

その日の釣りに合わせて、切り替えてご使用ください。



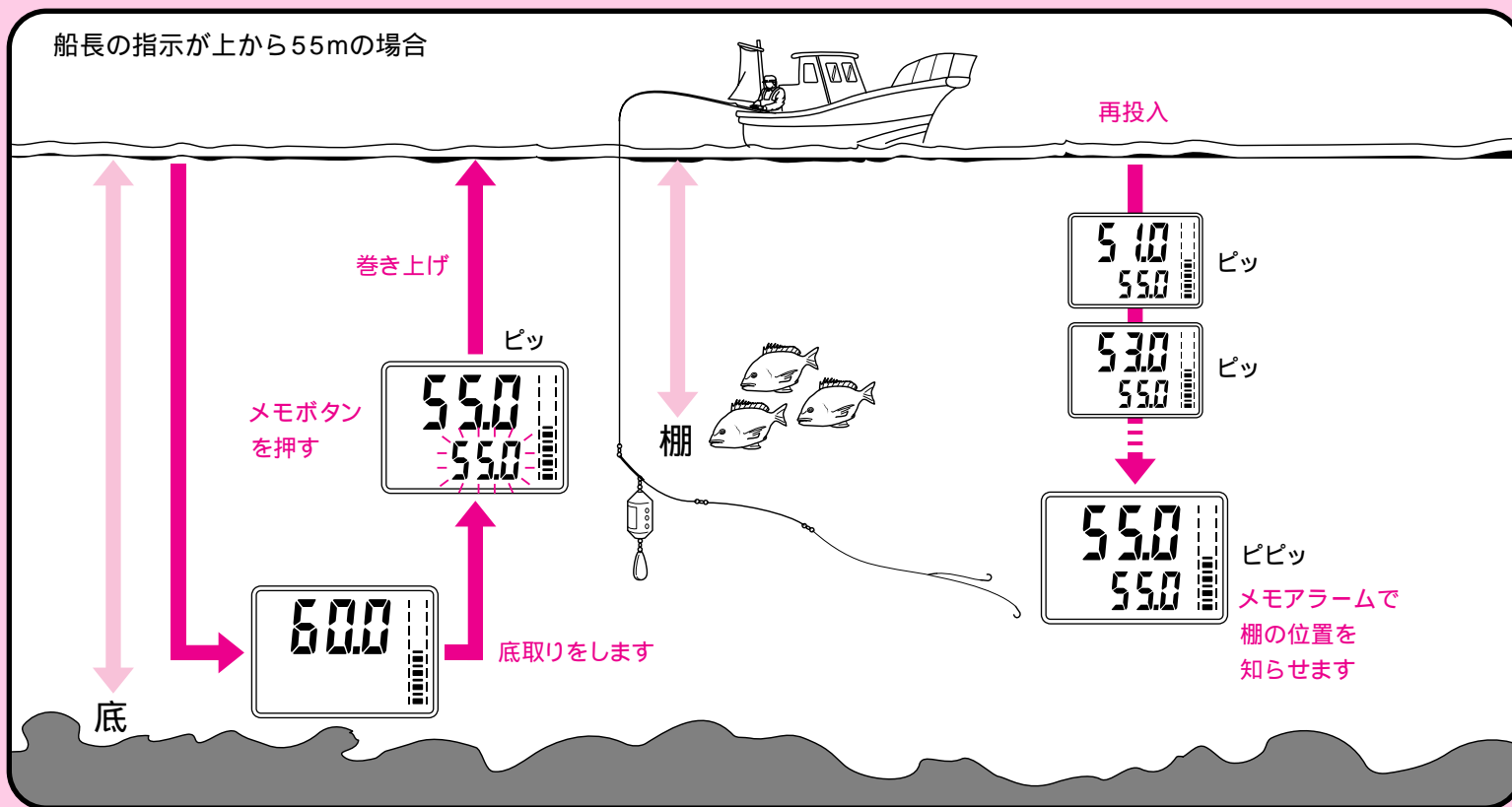
モードを切り替えるには...



上/底切り替えスイッチを押してください。「上からモード」と「底からモード」がその操作のたび交互に切り替わります。底からモードの時に「底」が点灯します。上からモードの時には何も点灯しません。

上からモードの実釣編

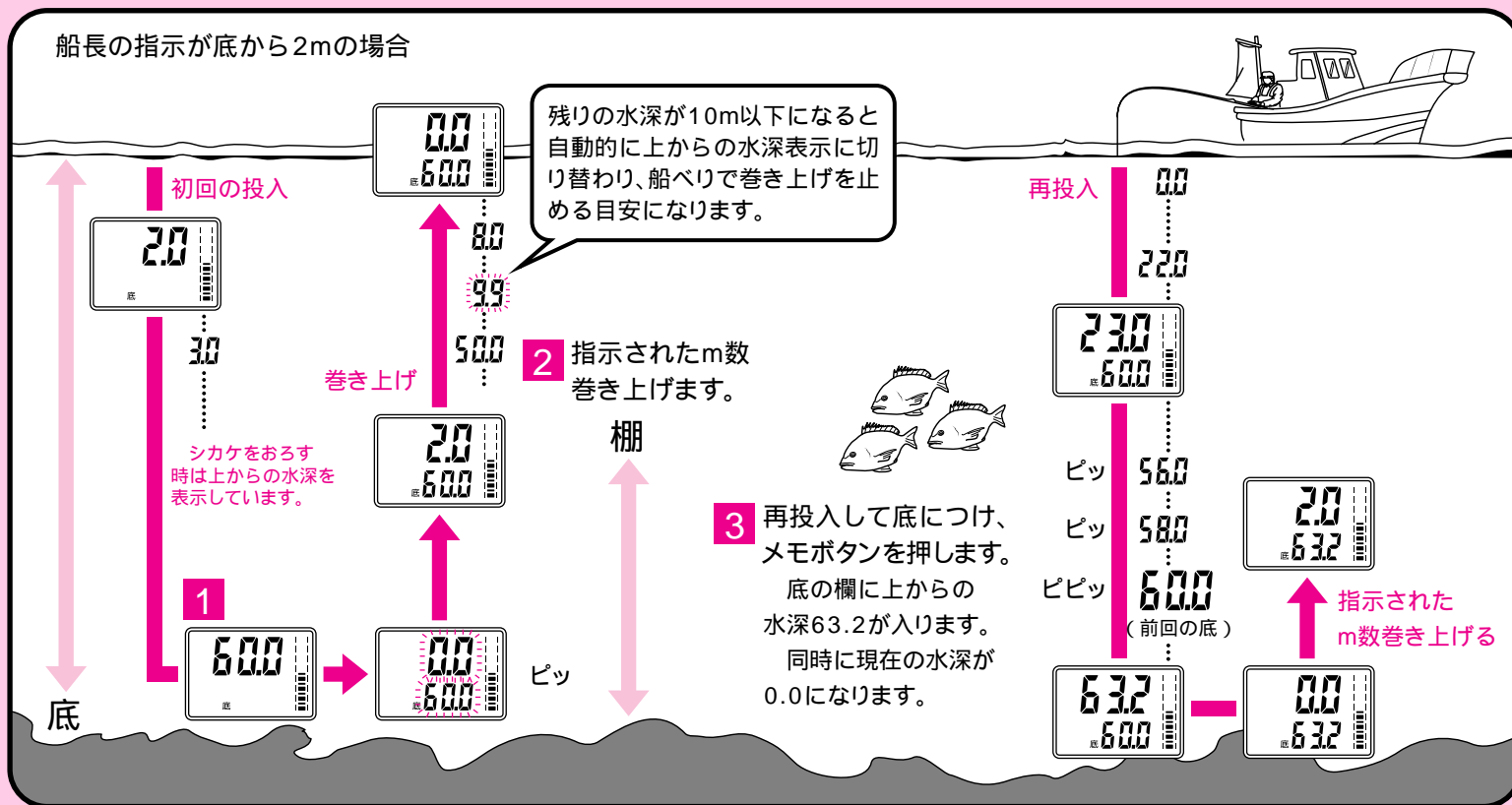
さそい上げはダブルクリック操作スイッチのチョイ巻きが威力を発揮!!



- 1 シカケをいったん底につけます。
- 2 シカケを巻いて棚に持ってきます。
- 3 メモスイッチを押して棚をメモリーします。
- 4 再度投入した際、「メモアラーム」によってシカケが棚の位置にきたことを知らせてくれます。

底からモードの実釣編

さそい上げはダブルクリック操作スイッチのチョイ巻きが威力を発揮!!



- 1 シカケをいったん底につけ、メモスイッチを押します。底の欄に上からの水深が入ります。同時に現在の水深が0.0になります。リールを巻き上げるとプラスにカウントし、底からの水深を表すようになります。

解説! 船長の指示が「底から何m」といった場合、釣り人はシカケをいったん底まで降ろして指示されたm数だけシカケを上げます。(通常この時にコマセを振ります。)
底の状態の変化に魚が平行して付いている釣場では、シカケの投入のたびにシカケを底に着けてから棚を取り直します。

お取り扱い上の注意 / セーフティ機能

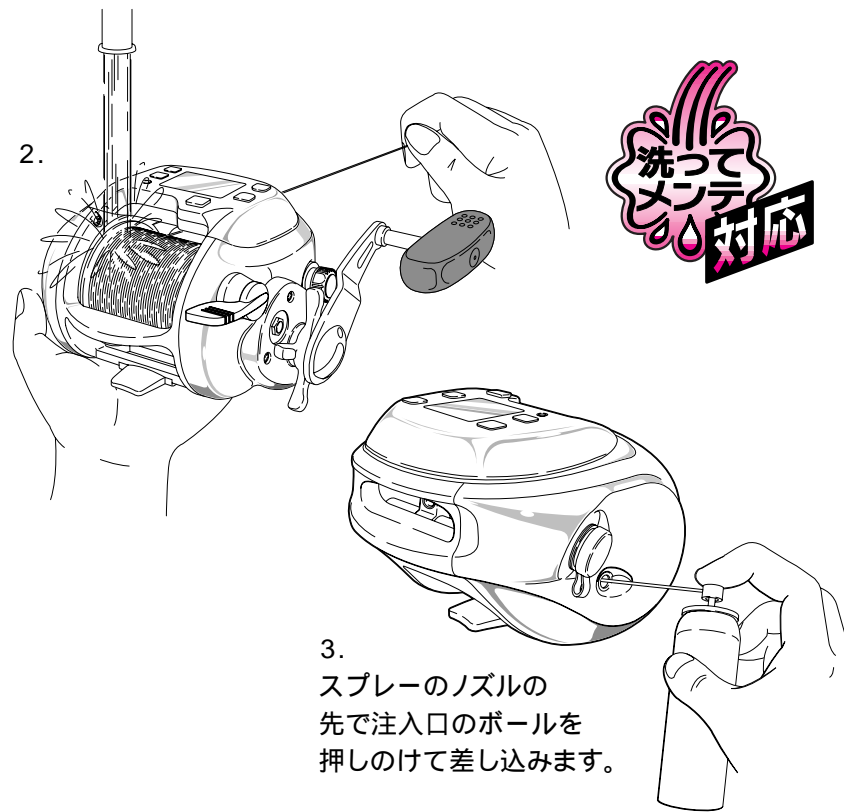
電動丸は、精密部品で構成されていますので下記注意事項を守ってお取り扱いください。
また、釣行後の手入れを十分行ない、未永くご使用ください。

1 リールのお手入れ方法について

この電動丸4000HPはリールに付いたコマセなどの汚れを洗い落とし、ベアリングにオイルを注入できるシステムになっています。

用意するもの：リール・中性洗剤・スポンジ・オイルスプレー（付属）

1. 水道水をリールにかけながら、洗剤を含ませたスポンジで汚れを落とします。
2. 水をかけて洗剤を落とします。スプールと本体の間に水をかけながらクラッチを切って道糸を2～3m出します。（右図参照）これによりスプール軸受け部に付着した塩分を洗い流せます。
3. 釣行2～3回おきに、右図のように左サイドプレート下の穴より付属のオイルスプレーを注入してください。
オイル注入後の保管によって、注入口等よりオイルが流れ出ることがありますのでオイル汚れにご注意ください。
4. 影干ししてよく乾燥させてください。
水中に浸けて洗わないでください。



2 ご使用上の注意

根掛かりした時には、竿やリールで無理にあおらないで、手にタオル等の布切れを巻いて、できるだけ釣場に糸の残らないように引き寄せて切ってください。

リールはていねいに扱ってください。移動時、特に投げ投げや、バッグ内で他の道具との接触による破損には十分ご注意ください。

リールは落としたり、衝撃を与えないよう、ていねいに扱ってください。船の竿立てに収められる時は、リール後部及び電源コードに衝撃を与えないよう、また、コードを折り曲げないようにご注意ください。特にコードをリールと船べりの間にはさまないようにご注意ください。偏光ガラスの種類によってカウンター液晶画面が見にくくなる場合があります。

3 お手入れの方法

コネクター部の腐食防止のために、リールを使用にならない時は、防水キャップをしてください。

各部分に付着したゴミ、砂などは真水で洗い流し、十分乾燥させてください。また、水没はさせないで下さい。特に、シンナー、ベンジンなど揮発性溶剤は絶対に使用しないで下さい。

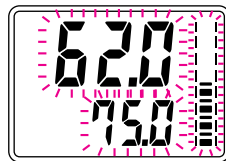
リールは絶対に分解しないでください。内部にはモーター、ブレーカーなどの電気部品が入っていますので故障の原因となります。ドラッグ部分には絶対オイルを付けしないでください。オイルが入るとドラッグ力が低下することがあります。

高温、高湿の状態です長時間放置されますと、変形や強度劣化の恐れがあります。長期保存される場合は、上記の手入れを実施後、風通しの良い場所で保存してください。

4 セーフティ機能

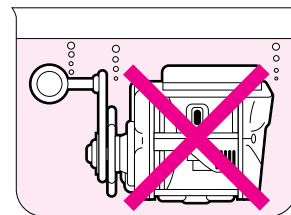
自動復帰ブレーカー

モーターに過負荷がかかった場合、モーターを保護するためにブレーカーが働きます。ブレーカーがとぶ時と、復帰した時にアラーム音でお知らせします。ブレーカーがとんだ時は右図のように全表示が点滅します。

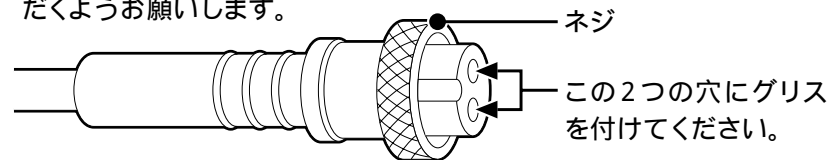


ご自分で分解・修理をされる場合は、部品のエッジ等で手を切らないようにご注意ください。

リール本体、特にカウンターユニット部は水没させないでください。
(カウンターユニットは日常生活防水仕様ですがトラブルを防止するため、水没させないでください。)

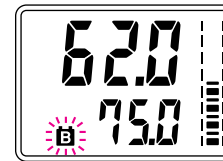


お手持ちのリールを末永くご愛用いただけるよう特別のグリスを作成しました。下記の図のように電源コードの端子の2つの穴に付けていただくをお願いします。



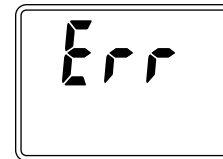
バッテリー検出表示

バッテリー電圧が下がったり(約10.5V)コード・コネクターの接触不良がおこると、バッテリーの絵文字が点灯します。(図A)



(図A)

また、DC21V以上の時Errが表示されます。(図B)



(図B)

仕様 / 製品のお問い合わせ・アフターサービスのご案内

5 仕様

品番	製品コード	ギヤ比	最大ドラグ力 (kg)	自重 (g)	糸巻量(号-m) デュラPE使用	最大巻上速度 (cm/ハンドル1回転)	電動巻上速度 (m/分)	スプール (径mm/幅mm)	ボールベアリング
電動丸4000HP	RG154000	3.1 : 1	13	1150	5-600 6-500 8-300 10-270	65	最高速160+130~10まで14変速 合計15変速	68/61.5	1

標準付属品:コード、布袋、取扱説明書、分解図、糸通しピン、グリス、オイルスプレー、下巻きゲージ

6 電源について

電源は、直流 (DC) 12Vです。(容量は16,000mAh以上のもののご使用をおすすめします。)指定外の電源 (たとえば家庭用の交流100V、船装備の直流

24Vなど)では使用できません。バッテリーチャージャーなどは、絶対に使わないでください。

7 製品のお問い合わせ・アフターサービスのご案内

リールのメカニズムの説明には書面で表しにくいことがあります。手紙での問い合わせにつきましては、必ずお客様の電話番号をお書き添えくださるようお願いいたします。

修理に出される際には、お買い上げの販売店へ現品をお預け願います。その際には必ず、修理箇所、不具合内容を具体的に(例/ストッパーが働かない)お知らせください。

また、お近くにシマノ商品取扱店がない場合は、最寄りの営業所・本社または釣具サービス課へお問い合わせください。

修理品は部品代のほか手数料をいただきますのでご了承ください。ご自分で修理をされる場合の部品や替えスプールのお取り寄せは分解図をご覧いただき、商品名・製品コード・部品番号・部品名をご指定の上ご注文ください。

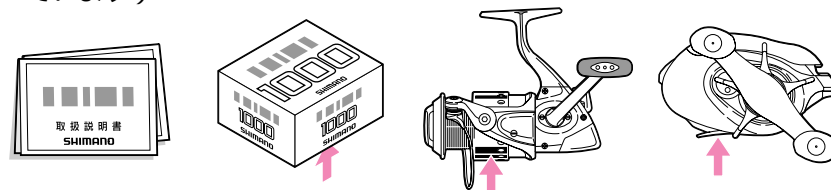
(内部の部品に関しましては、複雑ですのでリール本体ごと修理に出されることをお勧めします)

例 / 商品名 :ステラ1000
製品コード :SC66B010

部品番号 :2
部品名 :スプール

製品コードの位置

取扱説明書・分解図・パッケージ底面部・製品(コードの上5ケタを表示しています)



故障かな？と思われたときは

こんなとき	操作	参照
液晶が真っ黒、及び全文字が現れる。	高温度の雰囲気（車のトランクの中等）にさらされた時に生じる場合がありますが、温度が下がるにしたがって正常にもどります。	
12V電源をつないでも液晶が表示しない。	バッテリーと電源コードの（+）（-）とが正しく接続されているかをお確かめください。バッテリー容量が不足していないか、ご確認ください。	P.6
糸巻学習がセットされない。	お手数ですが再度学習の上、ご確認ください。	P.7～P.19
ラインを送り出してもカウントしない。	お手数ですが再度学習の上、ご確認ください。	P.7～P.19
誤差が大きい。	お手数ですが再度学習の上、ご確認ください。	P.7～P.19
カウンター表示と、糸の水深色分けとが一致しない。	糸の種類により、程度の差はありますが、使用中に糸が伸びることによりカウンターの表示との間にズレを生じる場合があります。	
船べり停止位置が違う。	巻き上げのテンションや糸の伸びの影響と思われます。水面での0セットを行なってください。また、入力可能な船べりセットは、1m～6m未満の範囲です。0m～1m未満のセットは安全のため1mに設定しています。	P.24/P.27
液晶表示はするがモーターが作動しない。	バッテリーの容量が十分かどうかご確認ください。 モーターが低速では作動するが、高速では作動しない場合もバッテリーの容量不足が考えられます。バッテリーを充電のうえ、ご確認ください。なお、充電しても正常に作動しない時は、バッテリーが古くなったことが考えられますので、新しいバッテリーと交換し、再度ご確認ください。	P.6
巻き上げ中にモーターが停止する。	電源コネクターのネジがしっかりと締め付けられているかご確認ください。 船電源の端子や、リールや電源コードのコネクタ部分サビしていると、通電不良を生じます。サビを落としてからもう一度ご確認ください。	P.6

以上の確認を行っても直らない場合は、お手数ですがお買上になった小売店にて、修理カードに故障内容をできるだけ詳しく書いていただき、シマノサービスセンターにお送りください。

ご使用前に必ずお読みください。

警告



糸をリードするレベルウィンドの所に指を近づけて、釣りをしないでください。指をはさまれて、けがをするおそれがあります。
ハンドルとボディーの間に手をはさむと、けがをするおそれがあります。



バッテリー、船電源の所定電圧（12ボルト）以外を使用しないで下さい。所定の電圧以外を使用すると、電動リールが発熱し、手をやけどするおそれがあります。

注意



回転しているスプールには触れないで下さい。けがをするおそれがあります。



電動リールは分解・改造等はしないでください。故障や事故につながる原因となります。

株式会社シマノ全国サービスネット

株式会社シマノ 北海道営業所

〒001-0034 札幌市北区北34条西10-6-21 TEL.(011)716-3301

株式会社シマノ 仙台営業所

〒983-0043 仙台市宮城野区萩野町2-17-10 TEL.(022)232-4775

株式会社シマノ 大宮営業所

〒331-0052 埼玉県大宮市三橋2-684-1 TEL.(048)622-3815

株式会社シマノ 東京営業所

〒143-0013 東京都大田区大森南1-17-17 TEL.(03)3744-5656

株式会社シマノ 千葉営業所

〒284-0045 千葉県四街道市美しが丘1-30-11 TEL.(043)433-1780

株式会社シマノ 静岡営業所

〒410-0807 静岡県沼津市錦町674 TEL.(0559)62-3983

株式会社シマノ 名古屋営業所

〒454-0012 名古屋市中川区尾頭橋2-6-21 TEL.(052)331-8666

株式会社シマノ 大阪営業所

〒660-0085 兵庫県尼崎市元浜町4-85 TEL.(06)6418-4541

株式会社シマノ 岡山営業所

〒700-0941 岡山市青江6-6-18 TEL.(086)264-6100

株式会社シマノ 広島営業所

〒734-0005 広島市南区翠1-11-6 TEL.(082)255-8143

株式会社シマノ 四国営業所

〒768-0014 香川県観音寺市流岡町1496-1 TEL.(0875)23-2220

株式会社シマノ 九州営業所

〒841-0048 佐賀県鳥栖市藤木町字若桜4-6 TEL.(0942)83-1515

株式会社シマノ 釣具事業部 本社：〒590-8577 大阪府堺市老松町3丁77番地

商品の性能、スペック、カタログ、イベントなどに関するお問い合わせ

フリーダイヤル ☎0120-861130(ハローイイサオ)受付時間:AM9:00~12:00・PM1:00~5:00(土・日・祝祭日除く)

釣具サービス課：〒592-8331 大阪府堺市築港新町1-5-15

商品の修理、パーツなどアフターサービスに関するお問い合わせ TEL.(0722)43-2851 / FAX.(0722)43-2860

シマノホームページ アドレスは <http://www.shimano.co.jp> です。

新製品やイベント、インストラクター情報などシマノならではのオリジナル情報を発信しています。

Printed in Japan 020



この説明書は再生紙を使用しています。

SHIMANO